



令和8年2月1日

寒さの中にも、少しずつ春の気配が感じられる季節となりました。

日々の生活の中で「自分の物」が分かるように、エプロンや口拭きタオルを配る際に「これだれの？」と子どもたちに見せながら声をかけたり、個人マークを伝えたりしています。最近では、自分の物が分かるようになり保育者が「これだれの？」と聞くと「〇〇の！」と教えてくれるようになってきました。

また、自分や友だちの個人マークも覚えてきて、排泄の際にオムツを自分で取り出したり、外遊びの支度をすると際に「〇〇くんのはここだよ」と友だちに帽子の場所を教える姿が見られます。「自分のもの」が分かるようになることで、「物を大切にしようとする気持ちが育つ」、「友だちとの関わりの中で貸し借りや順番を知るきっかけになる」など、心の育ちにもつながっていきます。今後も、一人ひとりのペースを大切にしながら園とご家庭と一緒に成長を見守っていかれたらと思います。

発表会に向けて舞台での練習も始まりました。始めは慣れない環境に不安な表情の子や、緞帳の開閉に驚いてしまう子の姿も見られました。練習の回数を重ねるごとに子どもたちの笑顔も増えていき、今では手遊びや、ダンスなどを元気いっぱい披露してくれています。

発表会当日は普段と違う雰囲気緊張や圧倒されてしまい、泣いてしまうこともあるかもしれません。一生懸命に頑張っている子ども達の姿を見守り、温かい拍手で応援してください。

〈今月のねらい〉

- ・見立て遊びや模倣遊びをしながら言葉のやり取りをする。
- ・オムツが濡れた際に言葉や仕草で伝えたり、トイレで排泄しようとする。

〈活動予定〉

- ・散歩（園まわり、近隣の公園など）
- ・運動遊び（またぐ、くぐる、跳ぶ、走るなど）
- ・指先遊び（ひも通し、クレヨン、粘土、砂遊びなど）

おねがい

・全ての持ち物に大きく、分かりやすく記名をお願いします。記名がない物や、消えかかっている物があります。今一度、確認をお願いします。

・園には常に3～5セット分の着替えをストックしておきたいため、前日持ち帰った枚数の洋服を翌日に補充用としてお持ちください。

